

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		8,074	8,515
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,007	800
一般財源		7,067	7,715
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	2,755.0	2,755.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,755.0	2,755.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		10,829.0	11,270.0

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,693	消耗費、燃料費、光熱水費、修繕費
13節 委託費	3,647	警備保障委託、宿日直業務委託、除草等業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,734	消防施設点検、ピアノ調律、テレビ受信料 等

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,800	宿日直業務委託、除草等業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,715	消防施設点検、ピアノ調律、テレビ受信料 等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民交流施設としての需要は高い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	一定の使用者の需要はあり、市民交流等が盛んである。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	以前から冷暖房料は実費負担をいただいている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市誌編さん室、文書館など今後の施設のあり方が課題である。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

今後の施設のあり方を検討の必要。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

当面、29年度市誌編さん事業が終了となるため、1階編さん室を公文書館として活用予定。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--